

学報

2015年9月 Vol.697



科学技術人材育成費補助事業

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」
の共同実施に関する協定を締結(8月5日)

科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」 の共同実施に関する協定を締結	01
岐阜大学オープンキャンパス2015 実施結果	02
岐阜大学男女共同参画推進室がカモミールこども大学を開催	03
第5回学長記者会見を実施	04
「留学生センター日本語・日本文化研修コース及び日本社会文化プログラム」 修了式を開催	05
“The 4th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2015”を開催	06
産官学連携の実施状況	07
メディア掲載一覧	08
主要日誌	12
人事異動(学内限定)	13

科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の共同実施に関する協定を締結

本学は、8月5日（水）、本学大会議室において、岐阜薬科大学、岐阜女子大学及びアピ株式会社と、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の共同実施に関する協定を締結した。

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（連携型）」とは、複数の機関が連携して、研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の改善やそれに向けた機関内の意識改革、女性研究者の裾野の拡大、女性研究者の研究力の向上及び上位職への積極登用に有効な部局横断的に共同して行う取組などを行う大学等を支援するものである。

今回、本学が代表機関となって共同実施する本事業は、「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」として、企業インターンシップ制度の構築、人財バンク共同利用等によって、女性研究者（技術者）の地元企業への就職支援、女性研究者が上位職や学位取得にチャレンジする環境整備、休業期間中の応援・スキルアップと復職支援、さらには専門分野間の交流や転換が期待できる「研究者の地域循環型育成」を創造する。地元企業が期待する人材育成と女性研究者のキャリア形成によって、岐阜県の地域創生リーダーとして、女性研究者が活躍する地域社会を実現することを目標としている。さらに、女性研究者支援体制の軸となる「連携型共同研究プロジェクト支援」を実施することにより、地域の教育・研究機関、企業が各々の特性を活かして連携し、共同研究を通じて女性研究者の研究力を強化するとともに、地域内での女性研究者の流動性を高めつつ、安定した活躍の場を確保することを目指す。

締結式の後に行われた記者会見において、森脇学長は、「女性研究者が活躍し、地域活性化に貢献することが最終目標」と決意を語った。



協定締結後の記念撮影

岐阜大学オープンキャンパス2015 参加者数

学部名		教育学部		地域科学部		医学部医学科		医学部看護学科		工学部		応用生物科学部		計		備考
年度		今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度	今年度	前年度	
申込数		836	754	400	232	240	237	431	499	1,094	1,121	-		3,001	2,843	
参加者数	OC	759	708	428	325	189	198	428	403	983	1,050	1,425	1,152	5,298	4,991	
	POC※2	391	187	113	92	-	-	81	113	-	-	1,086	1,155	585	392	
	計	1,150	895	541	417	189	198	509	516	983	1,050	2,511	2,307	5,883	5,383	
OC参加率 ※3		90.8%		107.0%		78.8%		118.1%		89.9%		-		95.6%	98.4%	OC参加者 /申込数
前年比	参加者総数	128.5%		129.7%		95.5%		98.6%		93.6%		108.8%		109.3%		今年度 /前年度
	OC参加者数	107.2%		131.7%		95.5%		106.2%		93.6%		108.8%		106.2%		

※1 OC : オープンキャンパス POC : プレオープンキャンパス

※2 応生については、OC3日目の人数。

	今年度	前年度
初日	1,187	1,309
2日目	2,514	2,594
3日目	2,182	1,480
計	5,883	5,383

岐阜大学男女共同参画推進室がカモミールこども大学を開催

岐阜大学男女共同参画推進室は、8月18日（火）・19日（水）に、岐阜大学の教職員の子どもを対象に「カモミールこども大学」を開催した。

これは、同推進室が小学生の子どもを持つ教職員に対し、子どもの長期休暇中における保育環境を提供すること、また、子どもに親の職場理解を深めてもらうことを目的として行われたものであり、今年度で3回目の開催となった。

当日は、20名の小学生が参加し、男女共同参画推進室・人材開発部職員育成課スタッフの他、教育学部の学生もアシスタントとして参画した。教育学部教員2名による「美術に親しむ」、「からだで遊ぼう」の各講座、工学部教員による「韓国の遊びと文化」、応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センターの協力による「農場収穫体験、マヨネーズ&ピザづくり」、医学部附属病院の協力による「ヘリポート見学」といった体験型の多彩なプログラムを実施した。

参加した子どもたちは、2日間の体験プログラムをこなし、最後に、「カモミールこども大学」学長を務めた林正子副学長から修了証書が手渡された。子どもの長期休暇中の保育環境に頭を悩ませる教職員に対し、安心して就業できる2日間を提供する有意義な取り組みとなった。



第5回学長記者会見を実施

本学は、8月19日（水）に、平成27年度第5回学長記者会見を実施した。

会見では、まず、森脇学長が、『家庭犬のがん予防プロジェクト始動』について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて概要を説明した。引き続き、丸尾応用生物科学部附属比較がんセンター長より説明が行われた。

質疑応答では、記者から多くの質問がされるなど本学の情報を積極的に発信する機会となった。



概要説明の様子



森脇学長



説明する丸尾比較がんセンター長

第5回発表事項は次のとおり。

- 森脇久隆学長
概要説明
- 丸尾比較がんセンター長
『家庭犬のがん予防プロジェクト始動』

「留学生センター日本語・日本文化研修コース及び日本社会文化プログラム」修了式を開催

留学生センターは、8月20日（木）、研究推進・社会連携機構インキュベーション施設において、日本語・日本文化研修コース等の修了式を開催した。修了式には、昨年10月に本学へ入学した日本語・日本文化研修コース留学生7人、日本社会文化プログラム留学生1名の計8名が出席した。

最初に、鈴木理事から、修了生に向け祝辞が述べられた。新渡戸稲造の「武士道」を引用して、帰国後は日本の文化を母国に広めてほしいことや、本学や日本の大学院に再留学し、再び皆さんに会いたいとの言葉があった。

修了証書が手渡された後、日本語・日本文化研修コース修了生を代表して、ジャヤセーカラ・カヴィンドラ・ガヤンギさん（サバラガムワ大学・スリランカ）、鐘佩容（ショウ・ハイヨウ）さん（広西大学・中国）、日本社会文化プログラム修了生の、ディアス・ジョナサンさん（サンディエゴ州立大学・アメリカ）があいさつをした。

最後に、竹内留学生センター長から修了のお祝いがあり、閉式となった。



鈴木理事のあいさつ



鈴木理事，センター長等と共に記念撮影

“The 4th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2015” を開催

岐阜大学大学院連合農学研究科（博士課程）、同応用生物科学研究科及び静岡大学総合科学技術研究科農学専攻（修士課程）は、8月25日（火）～27日（木）の間、南部アジア農学系博士課程教育連携コンソーシアム加盟校（南部アジア地域7カ国14大学）及びオブザーバー3大学、合計17大学による「The 4th UGSAS-GU Roundtable & Symposium 2015」（第4回農学系博士教育国際連携円卓会議及び農学系研究国際シンポジウム2015）を開催した。

初日の25日（火）は、岐阜都ホテルにおいて、加盟校14大学の副学長や若手研究者（主に本研究科修了生）を含む総勢91名の出席を得て、「農学系博士教育の質の保証と社会貢献の向上を目指す国際連携活動」の一環であるデュアル PhD ディグリープログラムとサンドイッチプログラムの進捗状況と広報を含めた現状報告のほか、南部アジア農学系博士課程教育連携コンソーシアムの将来に向けた活発な提案、意見交換が行われた。

2日目の26日（水）は、海外のアカデミアで活躍する本研究科修了生等の若手研究者を講師とした生物・農学系研究シンポジウムを開催した。

シンポジウム後は、博士課程、修士課程学生によるポスターセッションを開催し、33件のポスター発表が行われ、優秀発表学生4名にポスター賞が授与された。

最終日の27日（木）は、午前中にキャンパスツアー（附属病院、総合研究棟、附属図書館、保健管理センター、国際交流会館）を実施し、留学生の教育・研究・生活環境を視察した。そのほか、岐阜大学大学院連合農学研究科の職業人育成支援連携企業である天野エンザイム株式会社岐阜研究所を見学した。留学生からは、博士号取得学生の積極的な採用と海外のリサーチとマーケティングを期待したいなどの希望がでるなど関心の高さが伺える有意義なものとなった。



参加者全員で記念撮影

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成27年8月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	板谷 義紀	三菱マテリアル(株)
〃	河瀬 順洋	川崎重工業(株)
〃	河瀬 順洋	東洋電機製造(株)
〃	吉田 弘樹	サンメッセ(株)
応用生物科学部	長岡 利	(株)みすずコーポレーション
〃	西津 貴久	敷島製パン(株)
〃	矢部 富雄	(株)真誠
連合農学研究科	中野 浩平	岐阜県農業技術センター
〃	中野 浩平	DAISEN(株)
複合材料研究センター	深川 仁	豊和工業(株)

○共同研究

(平成27年8月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	二村 学	国立研究開発法人国立がん研究センター
〃	森田 啓之	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
〃	吉田 和弘	国立研究開発法人国立がん研究センター
医学部附属病院	宮崎 龍彦	胃癌補助療法研究グループ(SAMIT), 特定非営利活動法人疫学臨床試験研究試験機構
〃	村上 啓雄	岐阜県
工学部	佐々木 実	(公財)岐阜県研究開発財団
〃	新川 真人	(株)東北テクノアーチ
〃	松下 光次郎	国立研究開発法人科学技術振興機構
応用生物科学部	寺本 好邦	学校法人加計学園
〃	福井 博一	花き振興(育種栽培)コンソーシアム
〃	松井 勤	高精度影響評価コンソーシアム
連合創薬医療情報研究科	桑田 一夫	学校法人慶應義塾
流域圏科学研究センター	景山 幸二	病害虫検出同定コンソーシアム

メディア掲載一覧

○新聞

(平成27年8月分)

掲載日	新聞名	内容
8月1日	岐阜	◎スマイル：三浦 有貴さん ～医学部女子バスケットボール部新主将 三浦 有貴さん～
8月1日	朝日	夏冷たく冬に温かい地下水利用→街活性化 岐大院生，構想力で頂点 「公共政策デザインコンペ」北村記念賞 ～工学研究科 川口直秀さん～
8月3日	岐阜	◎教えてホームドクター：とびひ ひっかき，感染広がる 抗菌剤塗りガーゼで保護 ～医学部附属病院皮膚科 水谷陽子 臨床講師～
8月4日	岐阜	◎夕閑帳：感動のバレエ復活 ～岩田弘敏 名誉教授～
8月4日	朝日	山小屋 医学実践の夏 学生と患者 接する機会に 医師の確保，一番の課題 ～医学部～
8月4日	岐阜	◎研究室から大学はいま：「純粹さ」から先端技術の種 ～工学研究科環境エネルギーシステム専攻基幹講座再生可能エネルギーシステム 萬関一広 助教～
8月4日	読売	運動「コツつかんで」 岐阜大 苦手な児童に教室 ～教育学部 春日晃章 准教授～
8月4日	中日	苦手な運動克服だ！ 岐阜大でスポーツ教室 春日准教授 小学生にこつ伝授 ～教育学部 春日晃章 准教授～
8月6日	毎日	医療テレホン相談「内分泌内科」 ～医学部附属病院 諏訪哲也 准教授～
8月6日	毎日	第7回「全国でPUSH!」救命蘇生講習会
8月6日	朝日	安保法案に反対声明賛同100人超 大学教員らが会見 ～応用生物科学部 椎名貴彦 准教授～
8月6日	岐阜	安保法案に反対声明 岐阜大，岐経大，IAMAS 教員ら 有志の会，相次ぎ発足 ～応用生物科学部 椎名貴彦 准教授～
8月6日	毎日	安保法制反対 考える機会に 3大学有志声明 ～地域科学部 近藤 真 教授～
8月6日	中日	反安保法案へ有志の会 県内3大学の教職員ら設立 ～地域科学部 近藤 真 教授，応用生物科学部 椎名貴彦 准教授～
8月6日	岐阜	岐阜大と岐阜薬科大，岐阜女子大，アピ° 女性研究者支援で協定 学童保育整備など連携
8月8日	中日	ハンカチ所持に驚き 留学生ら 日本文化の研究発表
8月10日	中日	科学の甲子園へ 岐阜大で学習会 3県の高校生

掲載日	新聞名	内容
8月10日	岐阜	中学生がDNA鑑定 岐阜大体験講座, コメ分析 ～岐阜大生命科学総合研究支援センター(ゲノム研究分野)～
8月11日	岐阜	◎研究室から大学はいま: ロボット作りで「心」を解明 ～工学部電気電子・情報工学科 寺田和憲 准教授～
8月11日	日本経済	岐阜大などと女性研究者育成 アピ, 協定締結
8月12日	中日	コメDNAを鑑定 中学生の体験講座 岐阜大生が指導 ～応用生物科学研究科2年 榎本拓央さん～
8月13日	読売	防災の知恵: 若年層リーダー養成 卒業後の継続に課題 ～工学部(防災計画) 高木朗義 教授～
8月13日	朝日	「岐阜空襲を迫体験」 市民らが朗読劇 ～地域科学部 近藤 真 教授, 2年 井口娑葵さん～
8月14日	岐阜	◎夕閑帳: 長良川花火大会に感動 ～岩田弘敏 名誉教授～
8月18日	岐阜	◎夕閑帳: 高齢者における熱中症対策 ～岩田弘敏 名誉教授～
8月18日	岐阜	◎研究室から大学はいま: 腫瘍摘出, 脳機能温存に注力 ～医学部附属病院脳神経外科 中山則之 講師～
8月19日	中日	ドッグフードでがん予防 商品化めざし岐阜大が実験 ～応用生物科学部附属比較がんセンター 丸尾幸嗣 センター長～
8月19日	中日	遺伝子組み換え学ぶ 県内外の高校生 岐阜大で教室 ～岐阜大生命科学総合研究支援センター(ゲノム研究分野)～
8月20日	毎日	ペット犬使いががん予防実験 緑茶, ローズマリーのエキスえさに ～応用生物科学部附属比較がんセンター 丸尾幸嗣 センター長～
8月20日	朝日	がん防ぐドッグフード試作 岐阜大, 植物エキス配合 ～応用生物科学部附属比較がんセンター 丸尾幸嗣 センター長～
8月20日	岐阜	ドッグフードで犬のがん予防 岐阜大, 家庭犬200匹で検証へ ～応用生物科学部附属比較がんセンター 丸尾幸嗣 センター長～
8月21日	中日	署員が救急技術学ぶ 岐阜市消防本部 医師らアドバイス ～医学部附属病院 小倉真治 病院長～
8月22日	岐阜	お酒の強さ, 決めるのは遺伝子? 高校生, DNAに驚き ～生命科学総合研究支援センター 高島茂雄 助教～
8月22日	岐阜	医療の使命, 子どもら実感 岐阜大医学部でサマースクール 視覚障 害など疑似体験
8月22日	読売	緑化貢献ヤギに「草どうぞ」 美濃加茂で園児ら触れ合う ～応用生物科学部 八代田真人 准教授～

掲載日	新聞名	内容
8月22日	読売	医師，看護師の子 医療の現場学ぶ 岐阜大病院などで
8月22日	読売	犬のがん抑制 植物エキス 効果は エサに配合，岐阜大検証へ ～応用生物科学部附属比較がんセンター 丸尾幸嗣 センター長～
8月23日	中日	学生が落語熱演 岐阜でフェス きょう決勝 ～岐阜大落語研究会 「ながら家千兵衛」こと古沢長流さん～
8月24日	岐阜	岐阜市でてんしき杯落語大会 全国の学生，話芸競う ～岐阜大落語研究会 「鶴飼家つきみ」こと林美希さん～
8月25日	岐阜	◎夕閑帳：高齢者の事故災害 ～岩田弘敏 名誉教授～
8月25日	岐阜	◎研究室から大学はいま：体内に「糖と脂肪」のスイッチ ～医学部附属病院生体支援センター 飯塚勝美 講師～
8月25日	朝日	◎大学最先端 岐阜大・上：夢の繊維，微小な穴が鍵 防臭靴下や油 汚れ分解する衣料 ～工学部 武野明義 准教授～
8月27日	岐阜	埋もれた魅力 大学生が発掘 揖斐川町春日 お年寄りから聞き取り ～地域科学部4年 丸山純平さん～
8月28日	朝日	◎大学最先端 岐阜大・中：冷凍用こんにやく開発 「秘密の添加物」 加え食感損なわず ～応用生物科学部 西津貴久 教授～
8月29日	毎日	◎ますの歴史や作り方を学ぶ 大垣で見学会 ～2年 藤井みさのさん～
8月29日	岐阜	ワサビは日本固有種 岐阜大山根助教，辛味の進化解明 祖先から500 万年前分化 ～応用生物科学部 山根京子 助教～
8月30日	読売	狩猟免許取得 基礎知識学ぶ 鳥獣被害食い止めへ 岐阜大でフォー ラム
8月30日	朝日	◎大学最先端 岐阜大・下：観葉植物を特産野菜に 栄養満点アマラ ンサス 改良研究中 ～応用生物科学部 大場伸哉 教授～
8月31日	中日	狩猟仲間になりませんか？ 岐阜で魅力語り合うフォーラム
8月31日	朝日	狩猟の魅力 猟師語る 減少歯止めへ岐阜大でフォーラム

○テレビ・ラジオ

(平成27年8月分)

放送日	番組名	内容
8月4日	CBC テレビ 16:52～19:00 「イッポウ」	運動が苦手な小学3，4年生対象「3日間集中， 運動遊びプログラム～岐阜大学で楽しく，苦手な 運動を克服しよう～」の密着取材 ～教育学部 春日晃章 准教授～

放送日	番組名	内容
8月4日	NHK 岐阜 18:30～19:00 「ほっとイブニングぎふ」	ほっとライブ『夏休みにマスター！バク転教室』 ～教育学部 春日晃章 准教授～
8月28日	テレビ朝日 8:00～9:55 「モーニングバード」	岐阜方言の「キモイ」ならびに「コワイ」の語源 について』～教育学部 山田敏弘 教授～

主要日誌

月 日	行 事 名
8 / 3	応用生物科学研究科修士課程入学試験(一般・社会人・外国人留学生)(～4日まで)
4	応用生物科学研究科修士課程入学試験(推薦) 連合創薬医療情報研究科入学試験
5	代議委員会(連獣)
7	オープンキャンパス(～11日まで) 代議員会(連農) 研究科委員会(連創)
12	夏期一斉休業(～14日まで 附属病院除く)
26	医学系研究科再生医科学専攻(博士前期課程・一般)入学試験(～27日まで) 工学研究科博士前期課程入学試験(～27日まで)
28	工学研究科博士後期課程入学試験